

基本・基本・基本を忠実に！

2014年11月23/24日
東関東支部審判部

2014年度 東関東支部 審判講習会の実践活動内容

インストラクターの役割分担は、別紙をご覧ください。臨機応変のご対応をお願いいたします。

インストラクター数(主・副)

開講式 9:00~9:30

～4班に分け、各2列にて整列～ 1班・2班・3班・4班

全員

講師紹介時に各班の担当インストラクターを紹介する。

各班の担当インストラクターが整列させる。

(午前中) 各班の担当インストラクターは班と共に移動する。主インストラクターが列の先頭に並んでください。

開講式が終わり次第、外野に集合、スタート

午前の部 0930 -

インストラクター数(主・副)

① 準備運動： ランニング (外野2周程度)

0930- 体操 (柔軟を含む)、

15分目安 ダッシュ (30m×2本)

担当係の2名がGo-Stop-Callの際に、号令をかける役割を担ってください。

2・残り

② 基本動作： Go-Stop-Call (He's out, Safe, Time, Catch, No catch, Time)

ポイント： 下を向かない、基本動作、大きなジャッジ、大きな声、横と揃える。

担当インストラクターのデモ。

最初は、全員で歩きながら。

次に横一列になって、駆け足で。

各班インストラクターが先頭

2・残り

デモ(手本)は必ず各班の世話係のインストラクターが行うこと！

③ 投球動作の説明 (バッテリーも呼ぶ)

-1015 正規投球、牽制の仕方、イリーガリーピッチ、ボーク

1・残り

ポイント： イリーガリーピッチ、ザッツアボークのコールのタイミングも説明

(必要に応じて、この説明の間に、外野の投球練習場所のライン引き)

④ -1 1塁・3塁のライン際の打球判定 1班：1塁側、2班：3塁側 マスク/インジケータ持参

ポイント： ベース上での見極め、ライン確保、判断のタイミング

各班担当 2

1015-1115 受講生の半数は、球審を行う。(球審→塁審→球審→塁審・・・)

球審担当 3

④は15分で順番に回す。 1班⇄2班 →30分後に投球判定へ

球審担当はフリーの方が応援。異動しない。

④ -2 投球判定 マスクとインジケータ持参 右中間～左中間のエリアで実施

3班： バッテリーを付けた投球判定3箇所 (移動型ホームベース使用)

各班担当 2

ポイント： ストライクゾーンの確認、高低左右の見極め、イリーガリー、ボークの宣告

4班： ソフトスでの投球判定3箇所 (石灰代用でも可)

各班担当 2+1

ポイント： マスクの付け/外し方(インジケータを持って)、

フリーの方が応援。異動しない。

1015-1115 構え方(手・足の置く位置と向き・目線の位置)、

コールの仕方(プレイ・ストライク・ボール・ファールボール・ヒットバイピッチ・

タイム・インターフェアなど)、トラッキング(頭は固定、眼球の動き)、リラックス

ボール・ラインカーを準備する(バッテリーは不要)。

④は15分で順番に回す。 3班⇄4班 →30分後 3班は1塁側、4班は3塁側

- ⑤ フォースプレイ・ダブルプレイ 3班：2塁、4班：1塁（15分交代） **各班担当 2**
1115-1145 外野 1班：1塁、2班：2塁（15分交代）
ポイント： 立ち位置、構え方、コールのタイミング（野手の足、走者の足、捕球の確認）、
オフザバックなど

近い距離から野手が1塁に投げる形式とし、受講生は3人1組で行う。（各班20名以上の場合）

- ⑥ 盗塁、ランダウプレイ（牽制）（15分交代） **各班担当 2**
1145-1215 ⑤のエリアでそのまま継続して行う。
3班：1塁、4班：2塁、 外野 1班：1塁、2班：2塁（15分交代）
ポイント： 立ち位置、構え方、ステップ、コールのタイミング、オフザバック
ラインアウト、オン・ザ・タッグ、ナッシング、ボーク

1215-1315 ランチタイム： 混雑するので、班ごとにお弁当・お茶・味噌汁を受け取る。
（進行の遅れを織り込んでおります。 午後は1315開始を前提としています）

1245～1305 : 何でも気楽に質問コーナー

担当は技術委員・規則委員で、2か所くらいで。
規則委員（宮本さん）、ブロック長を中心に、
できるだけ他のメンバーもサポートする。

午 後 の 部

- ① 準備運動（1315にライト側の外野に集合： 各班担当は時間少し前に号令してください）

1315-1330 Go-Stop-Call

午前準備運動と同じ2・残り

ポイント： 午前中のプログラムできていなかったコールをここで修正すること。

最初は、全員で歩きながら、基本動作・コールを復讐する。

デモ（手本）は必ず各班
の担当インストラクター
が最初に行うこと！

キャンプ・ゲームにおけるインストラクターへのお願い

ここから、インストラクターは塁固定制です。

午後は、各班担当ではなく、塁固定方式にします。（2名（主・副）にしております）

千葉会場： 本塁 中村・三谷、1塁 富士和、鶴田、2塁 竹生、木村、3塁 高梨、大川

茨城会場： 本塁 青木、菅谷、1塁 高村、柴崎、2塁 須藤、後藤、3塁 富士和、横山

（それ以外のインストラクターは、各塁に応援に入ってください。）

基本メカニクスについて集めて説明することはいたしません。

実践プレイを優先させることにしますので、各場面、主はプレイした受講生に、副は後ろで控えている受講生に解説してあげてください。

25分でローテーションしますが、必ず最初の2回はインストラクターがデモ実技をしてください。

そして、できるだけ経験ある受講生から実技をさせてください。

メカニクスの説明について：

1塁：クロックワイズ、リミング、内野内への移動

2塁：内野内・内野外のポジショニング、1塁カバー、3塁カバー（駆け抜け）

3塁：タッグアップ、2塁への切込み、外野飛球の追いか

② キャンプ・ゲーム 25分で交代 本塁→3塁→2塁→1塁→本塁の順 上記の固定制

1330-1550

ポイント： 基本メカニクスの動きとトラブルが発生しそうな場面での対応

共通：立ち位置（走者なし、あり）と構え方、判定する際の位置取り

タイムのかけ方（前に進み出る）、インフィールドフライの合図、かけ方

ボーク・守備妨害・走塁妨害の対応

1 審：走者 1 塁、走者 1・2 塁、1 塁手との位置関係、外野飛球の担当エリア

ライトゴロ、 クロックワイズ、リミング、内野内への移動

2 審：内野内の立ち位置（コーチャーズボックスのラインを目安に）

内野外の立ち位置（普通守備野手、前進守備野手の場合）、

外野飛球の担当エリア、コミュニケーションの取り方（合図の出し方）

3 塁カバー、1 塁カバー

3 審：タッチアップ時の見る位置、2 塁への切込み時（どこまで）、3 盗時

外野飛球の担当エリア

球審：内野ゴロ、ライトゴロ、得点圏に走者がいる（ステイのケース）

外野フライ（1(3)審が追っかけた場合、タッグアップ）、タイムプレイ等

想定場面：

1 死 1 塁

1 死 1・2 塁

1 死 1・3 塁

1 死 2・3 塁

1 死満塁

1 死 3 塁

空過

ランダウン

悪送球（ボールデッド、Take two, Take one、

エンタイトル Two

ボーク

インターフェア（打者が捕手の 2 塁送球を妨害、守備妨害、走塁妨害）

オブストラクション（a 項、b 項）

実践プレイを数多く行います。

他の受講生の想定場面も勉強の場ですので、後ろで待機している受講生にメカニクス・基本動作・コールの仕方などを指導・アドバイスしてください。

場面によっては、解説付きで再現する場合があります。

模範演技： インストラクター4名（1組）、各班代表4名ずつ（4組）計5組 5分で交代

（各班担当のインストラクターはキャンプ・ゲーム時に選抜しておくこと）

各班担当のインストラクターがクルーの講評を行ってください。

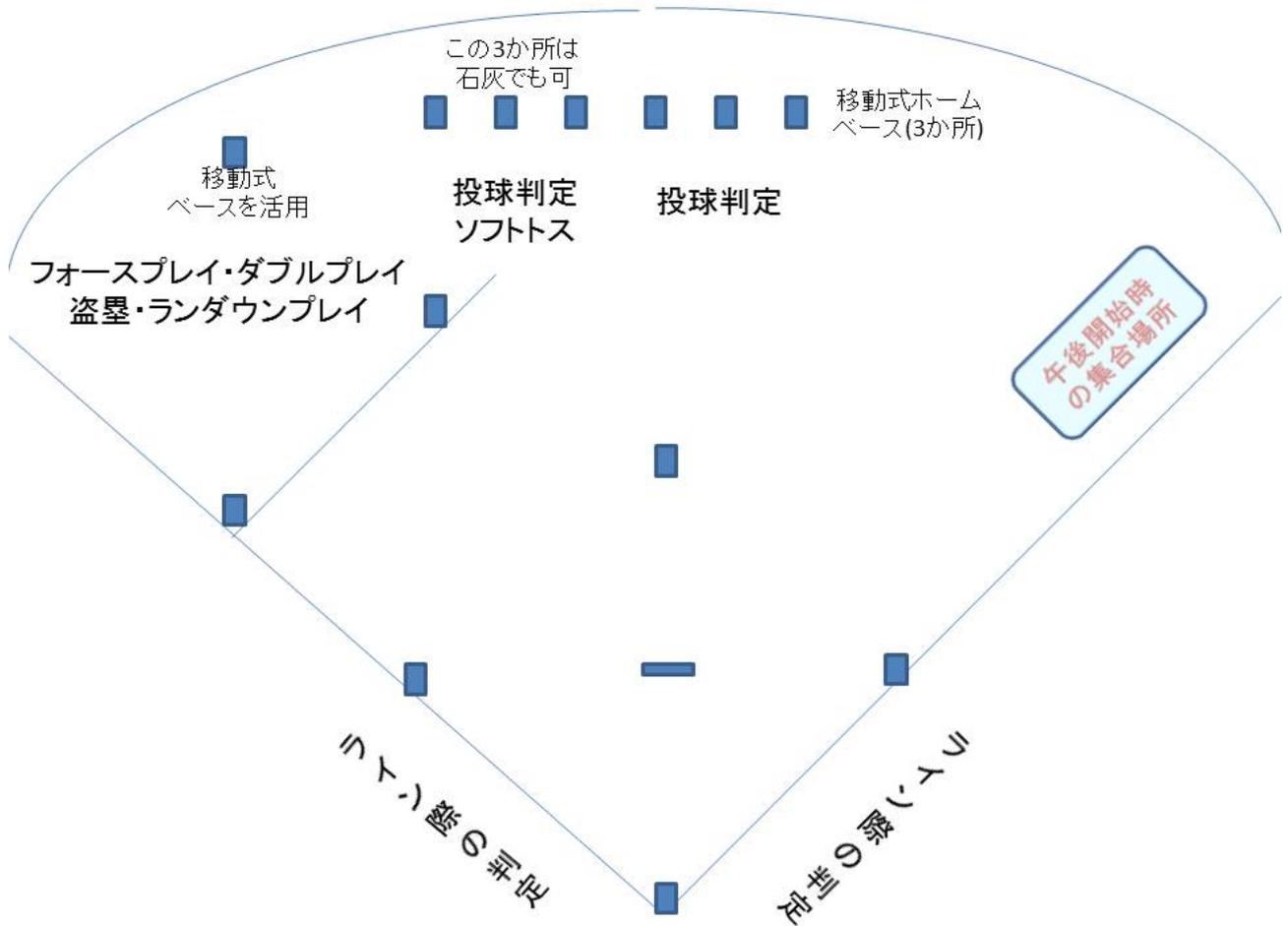
実技内容は以上です。

最後に、くどいようですが・・・

基本・基本・基本を忠実に！

を意識して、受講生を指導・アドバイスして下さるよう、お願いいたします。

<グラウンド設営と午前中の活動エリア>



何でも気楽に質問コーナー 2か所
宮本さんは両方を面倒見てください。
場所は、当日の朝、会場をみて決めます。

- 千葉会場： 宮本さん、須藤さん、竹生さん、中村さん、渡部
茨城会場： 宮本さん、飛田さん、富士和さん、柴崎さん、渡部

谷口さん、深澤さん、宮本さん、柴田さん、太田さん（顧問）は、終日フリーとします。

以上
作成 渡部